

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

認可

山梨学院大学 スポーツ科学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 山梨学院
平成30年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

スポーツ科学部

＜スポーツ科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	23
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	24
5. 教員組織の状況	26
6. 留意事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	48

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 山梨学院

(2) 大学名

山梨学院大学

(3) 大学の位置

〒400-8575
山梨県甲府市酒折二丁目4-5

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フルヤ タダ ヒコ) 古 屋 忠 彦 (昭和54年10月)	(フルヤ コウ ジ) 古 屋 光 司 (平成30年4月)	設置時の理事長古屋忠彦が、平成30年3月31日付での理事長辞任届を提出(平成30年2月1日付)したため、平成30年3月9日付の理事会にて後任を選任した。 (30)
学 長	(フルヤ タダ ヒコ) 古 屋 忠 彦 (昭和54年10月)	(フルヤ コウ ジ) 古 屋 光 司 (平成30年4月)	設置時の学長古屋忠彦が、平成30年3月31日付での学長辞任届を提出(平成30年2月1日付)したため、平成30年3月9日付の理事会にて後任を選任した。 (30)
学部長	(エンドウ トシ ロウ) 遠 藤 俊 郎 (平成28年4月)		
学科長等	(エンドウ トシ ロウ) 遠 藤 俊 郎 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
スポーツ科学部 スポーツ科学科 学士(スポーツ科学)	体育関係	4年	170人	- 年次人	680人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	- (-) [-]	- (-) [-]	170 (-) [-]	0 (-) [-]	170 (-) [-]	0 (-) [-]	170 (-) [-]	0 (-) [-]	1.17 倍	
志願者数	- (-) [-]	- (-) [-]	300 (-) [-]	0 (-) [-]	374 (-) [-]	0 (-) [-]	347 (-) [-]	0 (-) [-]		
受験者数	- (-) [-]	- (-) [-]	295 (-) [-]	0 (-) [-]	370 (-) [-]	0 (-) [-]	343 (-) [-]	0 (-) [-]		
合格者数	- (-) [-]	- (-) [-]	224 (-) [-]	0 (-) [-]	252 (-) [-]	0 (-) [-]	245 (-) [-]	0 (-) [-]		
B 入学者数	- (-) [-]	- (-) [-]	191 (-) [0]	0 (-) [0]	211 (-) [0]	0 (-) [0]	197 (-) [0]	0 (-) [0]		
入学定員超過率 B/A	-		1.12		1.24		1.15			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			191 [-] (-)	0 [-] (-)	211 [-] (-)	0 [-] (-)	198 [-] (1)	0 [-] (-)	第1年次の留年者1人は、前年度の休学者で内数。
2年次					186 [-] (-)	0 [-] (-)	205 [-] (-)	0 [-] (-)	
3年次							185 [-] (-)	0 [-] (-)	
4年次									
計			191 [-] (-)		397 [-] (-)		588 [-] (1)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	191 人	5 人	平成27年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(1)、学力不足(1)、他の教育機関への入学・転学(2)、その他(1)
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	397 人	6 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	1 人	— 人	就職(1)
			平成29年度	5 人	— 人	就学意欲の低下(1)、他の教育機関への入学・転学(1)、就職(2)、家庭の事情(1)
平成30年度	587 人	1 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	海外留学(1)
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	1175 人	12 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{191} = \boxed{2.61} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{397} = \boxed{1.51} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{587} = \boxed{0.17} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、基幹・基礎	法学(日本国憲法)	1・2 後		2							1
	経済学Ⅰ	1・2 前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2 後		2							1
	人間と科学Ⅰ	1・2 前		2		1					
	人間と科学Ⅱ	1・2 後		2		1					
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、人間・文化	日本の古典の世界Ⅰ	1・2 前		2							1
	日本の古典の世界Ⅱ	1・2 後		2							1
	音楽と文化Ⅰ	1・2 前		2							1
	音楽と文化Ⅱ	1・2 後		2							1
	宗教と人間Ⅰ	1・2 前		2							1
	宗教と人間Ⅱ	1・2 後		2							1
	平和学	1・2 前		2							1
平和学	1・2 後		2							1	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、国際、社会	東アジアの歴史と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	異文化コミュニケーション	1・2 前		2							1
	生物と環境Ⅰ	1・2 前		2							1
	生物と環境Ⅱ	1・2 後		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、環境・社会	自然の探求Ⅰ	1・2 前		2							1
	自然の探求Ⅱ	1・2 後		2							1
	観光と自然保護	1・2 前		2							1
	観光・ホスピタリティ概論	1・2 後		2							1
	富士山と観光	1・2 前		2							1
	富士山と観光	1・2 後		2							1
	富士山と観光	1・2 後		2							1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、基幹・基礎	法学(日本国憲法)	1・2 後		2							1
	経済学Ⅰ	1・2 前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2 後		2							1
	人間と科学Ⅰ	1・2 前		2		1					
	人間と科学Ⅱ	1・2 後		2		1					
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、人間・文化	日本の古典の世界Ⅰ	1・2 前		2							1
	日本の古典の世界Ⅱ	1・2 後		2							1
	音楽と文化Ⅰ	1・2 前		2							1
	音楽と文化Ⅱ	1・2 後		2							1
	宗教と人間Ⅰ	1・2 前		2							1
	宗教と人間Ⅱ	1・2 後		2							1
	平和学	1・2 前		2							1
平和学	1・2 後		2							1	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、国際、社会	東アジアの歴史と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	異文化コミュニケーション	1・2 前		2							1
	生物と環境Ⅰ	1・2 前		2							1
	生物と環境Ⅱ	1・2 後		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、環境・社会	自然の探求Ⅰ	1・2 前		2							1
	自然の探求Ⅱ	1・2 後		2							1
	観光と自然保護	1・2 前		2							1
	観光と自然保護	1・2 後		2							1
	観光とホスピタリティ	1・2 前		2							1
	観光とホスピタリティ	1・2 後		2							1
	富士山と観光	1・2 前		2							1

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、基幹・基礎	法学(日本国憲法)	1・2後		2							1
	経済学Ⅰ	1・2前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2後		2							1
	人間と科学Ⅰ	1・2前		2		1					
	人間と科学Ⅱ	1・2後		2		1					
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、人間・文化	日本の古典の世界Ⅰ	1・2前		2							1
	日本の古典の世界Ⅱ	1・2後		2							1
	音楽と文化Ⅰ	1・2前		2							1
	音楽と文化Ⅱ	1・2後		2							1
	宗教と人間Ⅰ	1・2前		2							1
	宗教と人間Ⅱ	1・2後		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、国際、社会	平和学	1・2前		2							1
	平和学	1・2後		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅰ	1・2前		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅱ	1・2後		2							1
	異文化コミュニケーション	1・2前		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、環境・社会	生物と環境Ⅰ	1・2前		2							1
	生物と環境Ⅱ	1・2後		2							1
	自然の探求Ⅰ	1・2前		2							1
	自然の探求Ⅱ	1・2後		2							1
	観光と自然保護	1・2後		2							1
	観光・ホスピタリティ概論	1・2前		2							1
	富士山と観光	1・2後		2							1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、基幹・基礎	法学(日本国憲法)	1・2後		2							1
	経済学Ⅰ	1・2前		2							1
	経済学Ⅱ	1・2後		2							1
	人間と科学Ⅰ	1・2前		2		1					
	人間と科学Ⅱ	1・2後		2		1					
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、人間・文化	日本の古典の世界Ⅰ	1・2前		2							1
	日本の古典の世界Ⅱ	1・2後		2							1
	音楽と文化Ⅰ	1・2前		2							1
	音楽と文化Ⅱ	1・2後		2							1
	宗教と人間Ⅰ	1・2前		2							1
	宗教と人間Ⅱ	1・2後		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、国際、社会	平和学	1・2前		2							1
	平和学	1・2後		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅰ	1・2前		2							1
	東アジアの歴史と社会Ⅱ	1・2後		2							1
	異文化コミュニケーション	1・2前		2							1
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、環境・社会	生物と環境Ⅰ	1・2前		2							1
	生物と環境Ⅱ	1・2後		2							1
	自然の探求Ⅰ	1・2前		2							1
	自然の探求Ⅱ	1・2後		2							1
	観光と自然保護	1・2後		2							1
	観光・ホスピタリティ概論	1・2前		2							1
	富士山と観光	1・2後		2							1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、教育・社会	教育と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	教育と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	食生活と健康 (オムニバス方式)	1・2 後		2							3
	青年と社会	1・2 前		2							1
	生活世界の探究	1・2 後		2							1
	心理学Ⅰ	1・2 前		2							1
	心理学Ⅱ	1・2 後		2							1
	学校と子どもⅠ	1・2 前		2							1
	学校と子どもⅡ	1・2 後		2							1
	外国語教育科目、国際コミュニケーション、基幹・基礎	英語Ⅰ	1 前		2						
英語Ⅱ		1 後		2							5
英語Ⅲ		2 前		2							5
英語Ⅳ		2 後		2							5
日本語Ⅰ(外国人留学生対象)		1 前		2							5
日本語Ⅱ(外国人留学生対象)		1 後		2							5
日本語Ⅲ(外国人留学生対象)		2 前		2							5
日本語Ⅳ(外国人留学生対象)		2 後		2							5

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、教育・社会	教育と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	教育と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	食生活と健康 (オムニバス方式)	1・2 後		2							3
	青年と社会	1・2 前		2							1
	生活世界の探究	1・2 後		2							1
	心理学Ⅰ	1・2 前		2							1
	心理学Ⅱ	1・2 後		2							1
	学校と子どもⅠ	1・2 前		2							1
	学校と子どもⅡ	1・2 後		2							1
	外国語教育科目、国際コミュニケーション、基幹・基礎	英語Ⅰ	1 前		2						
英語Ⅱ		1 後		2							5
英語Ⅲ		2 前		2							5
英語Ⅳ		2 後		2							5
日本語Ⅰ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 前		2							4
日本語Ⅱ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 後		2							4
日本語Ⅲ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 前		2							4
日本語Ⅳ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 後		2							4

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、教育・社会	教育と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	教育と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	食生活と健康 (オムニバス方式)	1・2 後		2							3
	青年と社会	1・2 前		2							1
	生活世界の探究	1・2 後		2							1
	心理学Ⅰ	1・2 前		2							1
	心理学Ⅱ	1・2 後		2							1
	学校と子どもⅠ	1・2 前		2							1
	学校と子どもⅡ	1・2 後		2							1
	外国語教育科目、国際コミュニケーション、基幹・基礎	英語Ⅰ	1 前		2						
英語Ⅱ		1 後		2							5
英語Ⅲ		2 前		2							5
英語Ⅳ		2 後		2							5
日本語Ⅰ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 前		2							4
日本語Ⅱ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 後		2							4
日本語Ⅲ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 前		2							4
日本語Ⅳ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 後		2							4

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合基礎教育科目、共生、発展・主題、教育・社会	教育と社会Ⅰ	1・2 前		2							1
	教育と社会Ⅱ	1・2 後		2							1
	食生活と健康 (オムニバス方式)	1・2 後		2							3
	青年と社会	1・2 前		2							1
	生活世界の探究	1・2 後		2							1
	心理学Ⅰ	1・2 前		2							1
	心理学Ⅱ	1・2 後		2							1
	学校と子どもⅠ	1・2 前		2							1
	学校と子どもⅡ	1・2 後		2							1
	外国語教育科目、国際コミュニケーション、基幹・基礎	英語Ⅰ	1 前		2						
英語Ⅱ		1 後		2							5
英語Ⅲ		2 前		2							5
英語Ⅳ		2 後		2							5
日本語Ⅰ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 前		2							4
日本語Ⅱ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		1 後		2							4
日本語Ⅲ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 前		2							4
日本語Ⅳ(外国人留学生対象) (未開講:履修希望者なし)		2 後		2							4

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目、共通科目	A群	スポーツ基礎演習	1	4		2	1				5		
		スポーツキャリア形成	1	4		5					1		
	B群	スポーツ哲学 (体育原理を含む)	1:2後	2								1	
		スポーツ史	1:2前	2								1	
		スポーツ社会学	1:2後	2		1							
		スポーツ経営学 (オムニバス方式)	1:2前	2		1	1						
		スポーツ心理学	1:2前	2		1							
		スポーツ教育論	1:2後	2			1						
		野外活動・教育論	1:2後	2				1					
		コーチング論 (運動学、運動方法を含む)	1:2前	2		1							
		C群	スポーツ生理学	1:2後	2			1					
			スポーツ栄養学	1:2後	2								1
	スポーツバイオメカニクス (機能解剖学を含む)		1:2後	2				1					
	体力論		1:2後	2			1						
	スポーツ医学		1:2前	2								1	
	スポーツ傷害論		1:2前	2				1					
	情報処理 (統計を含む)		1:2後	2			3	2					
	D群、a科目群	実技実習a1 (トレーニング/体づくり運動)	1:2前後	1			1	1					
		実技実習a2 (ダンス)	1:2前後	1								1	
		実技実習a3 (器械運動)	1:2前後	1								1	
		実技実習a4 (陸上競技・短距離・跳躍・投てき) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1	1	1					
		実技実習a5 (陸上競技・長距離) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1						1	
		実技実習a6 (水泳・水中運動)	1:2前後	1		1							
		実技実習a7 (スケート)(集中)	1:2前	1		1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目、共通科目	A群	スポーツ基礎演習	1	4		2	1				5		
		スポーツキャリア形成	1	4		5					1		
	B群	スポーツ哲学 (体育原理を含む)	1:2後	2								1	
		スポーツ史	1:2前	2								1	
		スポーツ社会学	1:2後	2		1							
		スポーツ経営学 (オムニバス方式)	1:2前	2		1	1						
		スポーツ心理学	1:2前	2		1							
		スポーツ教育論	1:2後	2				1					
		野外活動・教育論	1:2後	2					1				
		コーチング論 (運動学、運動方法を含む)	1:2前	2		1							
		C群	スポーツ生理学	1:2後	2			1					
			スポーツ栄養学 (オムニバス方式)	1:2後	2								2
	スポーツバイオメカニクス (機能解剖学を含む)		1:2後	2				1					
	体力論		1:2後	2			1						
	スポーツ医学		1:2前	2								1	
	スポーツ傷害論		1:2前	2				1					
	情報処理 (統計を含む)		1:2後	2			3	2					
	D群、a科目群	実技実習a1 (トレーニング/体づくり運動)	1:2前後	1			1	1					
		実技実習a2 (ダンス)	1:2前後	1								1	
		実技実習a3 (器械運動)	1:2前後	1								1	
		実技実習a4 (陸上競技・短距離・跳躍・投てき) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1	1	1					
		実技実習a5 (陸上競技・長距離) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1						1	
		実技実習a6 (水泳・水中運動)	1:2前後	1		1							
		実技実習a7 (スケート)(集中)	1:2前	1		1							

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目、共通科目	A群	スポーツ基礎演習	1	4		2	1				5		
		スポーツキャリア形成	1	4		5					1		
	B群	スポーツ哲学 (体育原理を含む)	1:2後	2								1	
		スポーツ史	1:2前	2								1	
		スポーツ社会学	1:2後	2		1							
		スポーツ経営学 (オムニバス方式)	1:2前	2		1	1						
		スポーツ心理学	1:2前	2		1							
		スポーツ教育論	1:2後	2		1							
		野外活動・教育論	1:2後	2				1					
		コーチング論 (運動学、運動方法を含む)	1:2前	2		1							
		C群	スポーツ生理学	1:2後	2			1					
			スポーツ栄養学	1:2後	2								1
	スポーツバイオメカニクス (機能解剖学を含む)		1:2後	2				1					
	体力論		1:2後	2		1							
	スポーツ医学		1:2前	2								1	
	スポーツ傷害論		1:2前	2				1					
	情報処理 (統計を含む)		1:2後	2			3	2					
	D群、a科目群	実技実習a1 (トレーニング/体づくり運動)	1:2前後	1			1	1					
		実技実習a2 (ダンス)	1:2前後	1								1	
		実技実習a3 (器械運動)	1:2前後	1								1	
		実技実習a4 (陸上競技・短距離・跳躍・投てき) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1	1	1					
		実技実習a5 (陸上競技・長距離) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1						1	
		実技実習a6 (水泳・水中運動)	1:2前後	1		1							
		実技実習a7 (スケート)(集中)	1:2前	1		1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目、共通科目	A群	スポーツ基礎演習	1	4		2	1				5		
		スポーツキャリア形成	1	4		5					1		
	B群	スポーツ哲学 (体育原理を含む)	1:2後	2								1	
		スポーツ史	1:2前	2								1	
		スポーツ社会学	1:2後	2		1							
		スポーツ経営学 (オムニバス方式)	1:2前	2				1				1	
		スポーツ心理学	1:2前	2		1							
		スポーツ教育論	1:2後	2		1							
		野外活動・教育論	1:2後	2					1				
		コーチング論 (運動学、運動方法を含む)	1:2前	2		1							
		C群	スポーツ生理学	1:2後	2			1					
			スポーツ栄養学	1:2後	2								1
	スポーツバイオメカニクス (機能解剖学を含む)		1:2後	2				1					
	体力論		1:2後	2		1							
	スポーツ医学		1:2前	2								1	
	スポーツ傷害論		1:2前	2				1					
	情報処理 (統計を含む)		1:2後	2			3	2					
	D群、a科目群	実技実習a1 (トレーニング/体づくり運動)	1:2前後	1			1	1					
		実技実習a2 (ダンス)	1:2前後	1								1	
		実技実習a3 (器械運動)	1:2前後	1								1	
		実技実習a4 (陸上競技・短距離・跳躍・投てき) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1	1	1					
		実技実習a5 (陸上競技・長距離) (オムニバス方式)	1:2前後	1		1						1	
		実技実習a6 (水泳・水中運動)	1:2前後	1		1							
		実技実習a7 (スケート)(集中)	1:2前	1		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、共通科目	D群、b科目群	実技実習b1 (バスケットボール)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b2 (サッカー)	1・2 前後	1		1						
		実技実習b3 (ラグビー)	1・2 後	1							1	
		実技実習b4 (ホッケー) (オムニバス方式)	1・2 後	1		2						
		実技実習b5 (バレーボール)	1・2 前後	1			1					
		実技実習b6 (テニス)	1・2 前	1							1	
		実技実習b7 (ソフトボール)	1・2 前後	1							1	
	D群、c科目群	実技実習c1 (柔道)	1・2 前後	1							1	
		実技実習c2 (レスリング)	1・2 前	1		1						
		実技実習c3 (空手道)	1・2 後	1							1	
	D群、d科目群	実技実習d1 (野外活動:キャンプ) (集中)	1・2・3・4 前	1		1		1				
		実技実習d2 (野外活動:水辺) (集中)	1・2・3・4 前	1			1					
		実技実習d3 (野外活動:雪上) (集中)	1・2・3・4 後	1		1		1				
	専門教育科目、コース科目	コース共通	スポーツ専門演習1	3 通	4		6	5	3			
			スポーツ専門演習2	4 通	4		6	5	3			
		競技スポーツコース、a科目群	競技スポーツマネジメント論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		3					
			競技スポーツ情報戦略論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			競技スポーツコーチング論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		1	1				1
			競技スポーツトレーニング論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			スポーツコミュニケーション論	2・3・4 前	2		1					
			障がい者競技スポーツ論	2・3・4 後	2		1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、共通科目	D群、b科目群	実技実習b1 (バスケットボール)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b2 (サッカー)	1・2 前後	1		1						
		実技実習b3 (ラグビー)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b4 (ホッケー) (オムニバス方式)	1・2 前	1		2						
		実技実習b5 (バレーボール)	1・2 前後	1			1					
		実技実習b6 (テニス)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b7 (ソフトボール)	1・2 前	1							1	
	D群、c科目群	実技実習c1 (柔道)	1・2 前後	1							1	
		実技実習c2 (レスリング)	1・2 後	1		1						
		実技実習c3 (空手道)	1・2 前後	1							1	
	D群、d科目群	実技実習d1 (野外活動:キャンプ) (集中)	1・2・3・4 前	1		1		1				
		実技実習d2 (野外活動:水辺) (集中)	1・2・3・4 前	1			1					
		実技実習d3 (野外活動:雪上) (集中)	1・2・3・4 後	1		1		1				
	専門教育科目、コース科目	コース共通	スポーツ専門演習1	3 通	4		6	5	3			
			スポーツ専門演習2	4 通	4		6	5	3			
		競技スポーツコース、a科目群	競技スポーツマネジメント論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		3					
			競技スポーツ情報戦略論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			競技スポーツコーチング論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		1	1				1
			競技スポーツトレーニング論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			スポーツコミュニケーション論	2・3・4 前	2		1					
			障がい者競技スポーツ論	2・3・4 後	2		1					

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、共通科目	D群、b科目群	実技実習b1 (バスケットボール)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b2 (サッカー)	1・2 前後	1		1						
		実技実習b3 (ラグビー)	1・2 後	1							1	
		実技実習b4 (ホッケー) (オムニバス方式)	1・2 前	1		2						
		実技実習b5 (バレーボール)	1・2 前後	1			1					
		実技実習b6 (テニス)	1・2 前	1							1	
		実技実習b7 (ソフトボール)	1・2 前後	1							1	
	D群、c科目群	実技実習c1 (柔道)	1・2 前後	1							1	
		実技実習c2 (レスリング)	1・2 後	1		1						
		実技実習c3 (空手道)	1・2 後	1							1	
	D群、d科目群	実技実習d1 (野外活動:キャンプ) (集中)	1・2・3・4 前	1		1		1				
		実技実習d2 (野外活動:水辺) (集中)	1・2・3・4 前	1			1					
		実技実習d3 (野外活動:雪上) (集中)	1・2・3・4 後	1		1		1				
	専門教育科目、コース科目	コース共通	スポーツ専門演習1	3 通	4		6	5	3			
			スポーツ専門演習2	4 通	4		6	5	3			
		競技スポーツコース、a科目群	競技スポーツマネジメント論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		3					
			競技スポーツ情報戦略論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			競技スポーツコーチング論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		1	1				1
			競技スポーツトレーニング論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			スポーツコミュニケーション論	2・3・4 前	2		1					
	障がい者競技スポーツ論	2・3・4 後	2		1							

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、共通科目	D群、b科目群	実技実習b1 (バスケットボール)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b2 (サッカー)	1・2 前後	1			1					
		実技実習b3 (ラグビー)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b4 (ホッケー) (オムニバス方式)	1・2 前	1		2						
		実技実習b5 (バレーボール)	1・2 前後	1				1				
		実技実習b6 (テニス)	1・2 前後	1							1	
		実技実習b7 (ソフトボール)	1・2 前	1							1	
	D群、c科目群	実技実習c1 (柔道)	1・2 前後	1							1	
		実技実習c2 (レスリング)	1・2 後	1		1						
		実技実習c3 (空手道)	1・2 前後	1							1	
	D群、d科目群	実技実習d1 (野外活動:キャンプ) (集中)	1・2・3・4 前	1		1		1				
		実技実習d2 (野外活動:水辺) (集中)	1・2・3・4 前	1			1					
		実技実習d3 (野外活動:雪上) (集中)	1・2・3・4 後	1		1		1				
	専門教育科目、コース科目	コース共通	スポーツ専門演習1	3 通	4		6	5	3			
			スポーツ専門演習2	4 通	4		6	5	3			
		競技スポーツコース、a科目群	競技スポーツマネジメント論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		3					
			競技スポーツ情報戦略論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			競技スポーツコーチング論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2		1	1				1
			競技スポーツトレーニング論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2		2					1
			スポーツコミュニケーション論	2・3・4 前	2		1					
	障がい者競技スポーツ論	2・3・4 後	2		1							

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	競技スポーツ技術論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2			1	1				1	
	競技スポーツ戦術論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2			1					2	
	競技スポーツ体力論	2・3・4 前	2			1						
	競技スポーツ心理論	2・3・4 後	2			1						
	競技スポーツ傷害論	2・3・4 前	2				1					
	競技スポーツ栄養論	2・3・4 後	2								1	
	競技スポーツコース、b科目群	競技スポーツ演習1 (マネジメント)	2・3・4 前	2			1					
		競技スポーツ演習2 (バイオメカニクス)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習3 (ゲーム分析)	2・3・4 前	2			1					
		競技スポーツ演習4 (体力)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習5 (心理)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習6 (傷害)	2・3・4 前	2					1			
	競技スポーツコース、c科目群	現代スポーツ論	2・3・4 前	2			1					
		生涯スポーツ政策論	2・3・4 前	2			1					
		生涯スポーツ プロモーション論	2・3・4 後	2			1					
		生涯スポーツ マネジメント論	2・3・4 前	2								1
		スポーツビジネス論	2・3・4 後	2			1					
		スポーツマーケティング論	2・3・4 前	2			1					
	生涯スポーツコース、a科目群	レクリエーション論	2・3・4 前	2				1				
		健康体力論	2・3・4 前	2			1					
		健康心理論	2・3・4 後	2				1				
		子どもスポーツ論	2・3・4 前	2			1					
		高齢者スポーツ論 (要介護者を含む)	2・3・4 後	2			1					
		障がい者スポーツ論	2・3・4 前	2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	競技スポーツ技術論 (オムニバス方式)	2・3・4 後	2			1	1				1	
	競技スポーツ戦術論 (オムニバス方式)	2・3・4 前	2			1					2	
	競技スポーツ体力論	2・3・4 前	2			1						
	競技スポーツ心理論	2・3・4 後	2			1						
	競技スポーツ傷害論	2・3・4 前	2				1					
	競技スポーツ栄養論	2・3・4 後	2								1	
	トレーニング指導実習 (オムニバス方式)	3・4 前	1								2	
	競技スポーツコース、b科目群	競技スポーツ演習1 (マネジメント)	2・3・4 前	2			1					
		競技スポーツ演習2 (バイオメカニクス)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習3 (ゲーム分析)	2・3・4 前	2			1					
		競技スポーツ演習4 (体力)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習5 (心理)	2・3・4 前	2				1				
		競技スポーツ演習6 (傷害)	2・3・4 前	2					1			
	競技スポーツコース、c科目群	現代スポーツ論	2・3・4 前	2			1					
		生涯スポーツ政策論	2・3・4 前	2			1					
		生涯スポーツ プロモーション論	2・3・4 後	2			1					
		生涯スポーツ マネジメント論	2・3・4 前	2								1
		スポーツビジネス論	2・3・4 後	2			1					
		スポーツマーケティング論	2・3・4 前	2			1					
	生涯スポーツコース、a科目群	レクリエーション論	2・3・4 前	2				1				
		健康体力論	2・3・4 前	2			1					
		健康心理論	2・3・4 後	2				1				
		子どもスポーツ論	2・3・4 前	2			1					
		高齢者スポーツ論 (要介護者を含む)	2・3・4 後	2			1					
		障がい者スポーツ論	2・3・4 前	2			1					
	運動処方論	3・4 後	2								1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目、コース科目	競技スポーツ技術論 (オムニバス方式) 競技スポーツ戦術論 (オムニバス方式) 競技スポーツ体力論 競技スポーツ心理論 競技スポーツ傷害論 競技スポーツ栄養論	2・3・4後	2			1	1				1
		2・3・4前	2			1					2
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2				1				
		2・3・4後	2					1			1
	競技スポーツ演習1 (マネジメント) 競技スポーツ演習2 (バイオメカニクス) 競技スポーツ演習3 (ゲーム分析) 競技スポーツ演習4 (体力) 競技スポーツ演習5 (心理) 競技スポーツ演習6 (傷害)	2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2				1				
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2				1				
	現代スポーツ論 生涯スポーツ政策論 生涯スポーツ プロモーション論 生涯スポーツ マネジメント論 スポーツビジネス論 スポーツマーケティング論	2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2				1				1
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					1
	レクリエーション論 健康体力論 健康心理論 子どもスポーツ論 高齢者スポーツ論 (要介護者を含む) 障がい者スポーツ論	2・3・4前	2				1				
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目、コース科目	競技スポーツ技術論 (オムニバス方式) 競技スポーツ戦術論 (オムニバス方式) 競技スポーツ体力論 競技スポーツ心理論 競技スポーツ傷害論 競技スポーツ栄養論	2・3・4後	2			1	1				1
		2・3・4前	2			1					2
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2				1				
		2・3・4後	2					1			1
	競技スポーツ演習1 (マネジメント) 競技スポーツ演習2 (バイオメカニクス) 競技スポーツ演習3 (ゲーム分析) 競技スポーツ演習4 (体力) 競技スポーツ演習5 (心理) 競技スポーツ演習6 (傷害)	2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2				1				
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2				1				
	現代スポーツ論 生涯スポーツ政策論 生涯スポーツ プロモーション論 生涯スポーツ マネジメント論 スポーツビジネス論 スポーツマーケティング論	2・3・4前	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2				1				1
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					1
	レクリエーション論 健康体力論 健康心理論 子どもスポーツ論 高齢者スポーツ論 (要介護者を含む) 障がい者スポーツ論	2・3・4前	2				1				
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					
		2・3・4後	2			1					
		2・3・4前	2			1					

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	生涯スポーツ演習1 (スポーツプロモーション)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習2 (スポーツマネジメント)	2・3・4 前		2							1	
	生涯スポーツ演習3 (スポーツビジネス)	2・3・4 前		2		1						
	生涯スポーツ演習4 (子どものスポーツ活動)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習5 (高齢者・要介護者のスポーツ活動)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習6 (野外活動・教育)	2・3・4 前		2				1				
	生涯スポーツ演習7 <small>(健康運動指導者研修・専任教員指導者研修等)</small>	2・3・4 前		2		1						
専門教育科目、キャリア形成科目	種目別コーチング演習1 <small>(陸上競技・短距離・障害) (オムニバス方式)</small>	3・4 通		4		1	1					1
	種目別コーチング演習2 <small>(陸上競技・長距離・駅伝) (オムニバス方式)</small>	3・4 通		4		1						1
	種目別コーチング演習3 (水泳)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習4 (スケート)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習5 (バスケットボール)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習6 (サッカー)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習7 (ラグビー)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習8 (ホッケー) (オムニバス方式)	3・4 通		4		2						
	種目別コーチング演習9 (バレーボール) (オムニバス方式)	3・4 通		4		1	1					
	種目別コーチング演習10 (ソフトボール)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習11 (柔道)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習12 (レスリング)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習13 (空手道)	3・4 通		4								1
B群(競技スポーツサポート系)	競技スポーツサポート演習1 (マネジメント)	3・4 後		2		1						
	競技スポーツサポート演習2 (バイオメカニクス)	3・4 後		2				1				
	競技スポーツサポート演習3 (戦術・ゲーム分析)	3・4 後		2		1						
	競技スポーツサポート演習4 (体力)	3・4 後		2			1					
	競技スポーツサポート演習5 (心理)	3・4 後		2				1				
	競技スポーツサポート演習6 (傷害)	3・4 後		2					1			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	生涯スポーツ演習1 (スポーツプロモーション)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習2 (スポーツマネジメント)	2・3・4 前		2								1
	生涯スポーツ演習3 (スポーツビジネス)	2・3・4 前		2		1						
	生涯スポーツ演習4 (子どものスポーツ活動)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習5 (高齢者・要介護者のスポーツ活動)	2・3・4 前		2			1					
	生涯スポーツ演習6 (野外活動・教育)	2・3・4 前		2				1				
	生涯スポーツ演習7 <small>(健康運動指導者研修・専任教員指導者研修等)</small>	2・3・4 前		2		1						
専門教育科目、キャリア形成科目	種目別コーチング演習1 <small>(陸上競技・短距離・障害) (オムニバス方式)</small>	3・4 通		4		1	1					
	種目別コーチング演習2 <small>(陸上競技・長距離・駅伝) (オムニバス方式)</small>	3・4 通		4		1						1
	種目別コーチング演習3 (水泳)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習4 (スケート)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習5 (バスケットボール)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習6 (サッカー)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習7 (ラグビー)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習8 (ホッケー) (オムニバス方式)	3・4 通		4		2						
	種目別コーチング演習9 (バレーボール) (オムニバス方式)	3・4 通		4		1	1					
	種目別コーチング演習10 (ソフトボール)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習11 (柔道)	3・4 通		4								1
	種目別コーチング演習12 (レスリング)	3・4 通		4		1						
	種目別コーチング演習13 (空手道)	3・4 通		4								1
B群(競技スポーツサポート系)	競技スポーツサポート演習1 (マネジメント)	3・4 後		2		1						
	競技スポーツサポート演習2 (バイオメカニクス)	3・4 後		2				1				
	競技スポーツサポート演習3 (戦術・ゲーム分析)	3・4 後		2		1						
	競技スポーツサポート演習4 (体力)	3・4 後		2			1					
	競技スポーツサポート演習5 (心理)	3・4 後		2				1				
	競技スポーツサポート演習6 (傷害)	3・4 後		2					1			

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	生涯スポーツ演習1 (スポーツプロモーション)	2・3・4 前	2			1						
	生涯スポーツ演習2 (スポーツマネジメント)	2・3・4 前	2								1	
	生涯スポーツ演習3 (スポーツビジネス)	2・3・4 前	2			1						
	生涯スポーツ演習4 (子どものスポーツ活動)	2・3・4 前	2				1					
	生涯スポーツ演習5 (高齢者・要介護者のスポーツ活動)	2・3・4 前	2				1					
	生涯スポーツ演習6 (野外活動・教育)	2・3・4 前	2					1				
	生涯スポーツ演習7 (健康運動指導者研修(事前事後研修を含む))	2・3・4 前	2			1						
A群(コーチング系)	種目別コーチング演習1 (陸上競技・短距離・障害) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1	1					1
	種目別コーチング演習2 (陸上競技・長距離・駅伝) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習3 (水泳)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習4 (スケート)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習5 (バスケットボール)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習6 (サッカー)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習7 (ラグビー)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習8 (ホッケー) (オムニバス方式)	3・4 通	4			2						
	種目別コーチング演習9 (バレーボール) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1	1					
	種目別コーチング演習10 (ソフトボール)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習11 (柔道)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習12 (レスリング)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習13 (空手道)	3・4 通	4								1	
B群(競技スポーツサポート系)	競技スポーツサポート演習1 (マネジメント)	3・4 後	2			1						
	競技スポーツサポート演習2 (バイオメカニクス)	3・4 後	2				1					
	競技スポーツサポート演習3 (戦術・ゲーム分析)	3・4 後	2			1						
	競技スポーツサポート演習4 (体力)	3・4 後	2				1					
	競技スポーツサポート演習5 (心理)	3・4 後	2				1					
	競技スポーツサポート演習6 (傷害)	3・4 後	2					1				

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、コース科目	生涯スポーツ演習1 (スポーツプロモーション) (履修希望者なし)	2・3・4 前	2							1		
	生涯スポーツ演習2 (スポーツマネジメント)	2・3・4 前	2									1
	生涯スポーツ演習3 (スポーツビジネス)	2・3・4 前	2					0				1
	生涯スポーツ演習4 (子どものスポーツ活動)	2・3・4 前	2						1			
	生涯スポーツ演習5 (高齢者・要介護者のスポーツ活動)	2・3・4 前	2						1			
	生涯スポーツ演習6 (野外活動・教育)	2・3・4 前	2							1		
	生涯スポーツ演習7 (健康運動指導者研修(事前事後研修を含む)) (履修希望者なし)	2・3・4 前	2						1			
A群(コーチング系)	種目別コーチング演習1 (陸上競技・短距離・障害) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1	1					
	種目別コーチング演習2 (陸上競技・長距離・駅伝) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1						1
	種目別コーチング演習3 (水泳)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習4 (スケート)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習5 (バスケットボール)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習6 (サッカー)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習7 (ラグビー)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習8 (ホッケー) (オムニバス方式)	3・4 通	4			2						
	種目別コーチング演習9 (バレーボール) (オムニバス方式)	3・4 通	4			1	1					
	種目別コーチング演習10 (ソフトボール)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習11 (柔道)	3・4 通	4								1	
	種目別コーチング演習12 (レスリング)	3・4 通	4			1						
	種目別コーチング演習13 (空手道)	3・4 通	4								1	
B群(競技スポーツサポート系)	競技スポーツサポート演習1 (マネジメント)	3・4 後	2			1						
	競技スポーツサポート演習2 (バイオメカニクス)	3・4 後	2				1			1		
	競技スポーツサポート演習3 (戦術・ゲーム分析)	3・4 後	2			1						
	競技スポーツサポート演習4 (体力)	3・4 後	2				1			1		
	競技スポーツサポート演習5 (心理)	3・4 後	2				1				1	
	競技スポーツサポート演習6 (傷害)	3・4 後	2								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、キャリア形成科目	C群 (生涯スポーツサポート系)	生涯スポーツサポート演習1 (スポーツプロモーション)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習2 (スポーツマーケティング)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習3 (子どもスポーツ)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習4 (高齢者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習5 (障がい者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習6 (野外活動・教育)	3・4後	2				1				
	D群 (教職(保健体育)系)	保健体育科教育法1 (体育)	2・3・4前	2			1					1
		保健体育科教育法2 (保健)	2・3・4後	2								
		介護等体験実習 (事前事後指導を含む)	2・3・4前	2			1					
		保健体育科指導論 (オムニバス方式)	2・3・4後	2		2						
		体育科内容・指導論1 (体育理論) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		1	1	1				
		体育科内容・指導論2 (体育実技) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		2	1					
		保健科内容・指導論	2・3・4後	2		1						
		学校保健学(小児保健、精神保健、 学校安全及び緊急処置を含む)	2・3・4前	2								1
		衛生学 (公衆衛生学を含む)	2・3・4後	2								1
		E群 (スポーツ英語系)	スポーツ英語a1 (会話)	2・3・4前	2			1				
	スポーツ英語a2 (会話)		2・3・4後	2		1						
	スポーツ英語a3 (会話)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語a4 (会話)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b1 (読解)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語b2 (読解)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b3 (読解)		2・3・4後	2			1					
	スポーツ英語b4 (読解)		2・3・4前	2			1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、キャリア形成科目	C群 (生涯スポーツサポート系)	生涯スポーツサポート演習1 (スポーツプロモーション)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習2 (スポーツマーケティング)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習3 (子どもスポーツ)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習4 (高齢者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習5 (障がい者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習6 (野外活動・教育)	3・4後	2				1				
	D群 (教職(保健体育)系)	保健体育科教育法1 (体育)	2・3・4前	2			1					1
		保健体育科教育法2 (保健)	2・3・4後	2								
		介護等体験実習 (事前事後指導を含む)	2・3・4前	2			1					
		保健体育科指導論 (オムニバス方式)	2・3・4後	2		2						
		体育科内容・指導論1 (体育理論) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		1	1	1				
		体育科内容・指導論2 (体育実技) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		2	1					
		保健科内容・指導論	2・3・4後	2		1						
		学校保健学(小児保健、精神保健、 学校安全及び緊急処置を含む)	2・3・4前	2								1
		衛生学 (公衆衛生学を含む)	2・3・4後	2								1
		E群 (スポーツ英語系)	スポーツ英語a1 (会話)	2・3・4前	2			1				
	スポーツ英語a2 (会話)		2・3・4後	2		1						
	スポーツ英語a3 (会話)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語a4 (会話)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b1 (読解)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語b2 (読解)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b3 (読解)		2・3・4後	2			1					
	スポーツ英語b4 (読解)		2・3・4前	2			1					

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、キャリア形成科目	C群 (生涯スポーツサポート系)	生涯スポーツサポート演習1 (スポーツプロモーション)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習2 (スポーツマーケティング)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習3 (子どもスポーツ)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習4 (高齢者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習5 (障がい者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習6 (野外活動・教育)	3・4後	2				1				
	D群 (教職(保健体育)系)	保健体育科教育法1 (体育)	2・3・4前	2			1					1
		保健体育科教育法2 (保健)	2・3・4後	2								
		介護等体験実習 (事前事後指導を含む)	2・3・4前	2			1					
		保健体育科指導論 (オムニバス方式)	2・3・4後	2		2						
		体育科内容・指導論1 (体育理論) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		1	1	1				
		体育科内容・指導論2 (体育実技) (オムニバス方式)	2・3・4前	2			2	1				
		保健科内容・指導論	2・3・4後	2		1						
		学校保健学(小児保健、精神保健、 学校安全及び緊急処置を含む)	2・3・4前	2								1
		衛生学 (公衆衛生学を含む)	2・3・4後	2								1
		E群 (スポーツ英語系)	スポーツ英語a1 (会話)	2・3・4前	2			1				
	スポーツ英語a2 (会話)		2・3・4後	2		1						
	スポーツ英語a3 (会話)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語a4 (会話)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b1 (読解)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語b2 (読解)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b3 (読解)		2・3・4後	2			1					
	スポーツ英語b4 (読解)		2・3・4前	2		1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目、キャリア形成科目	C群 (生涯スポーツサポート系)	生涯スポーツサポート演習1 (スポーツプロモーション)	3・4後	2			1					
		生涯スポーツサポート演習2 (スポーツマーケティング)	3・4後	2			0					
		生涯スポーツサポート演習3 (子どもスポーツ)	3・4後	2				1				
		生涯スポーツサポート演習4 (高齢者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習5 (障がい者スポーツ)	3・4後	2		1						
		生涯スポーツサポート演習6 (野外活動・教育)	3・4後	2					1			
	D群 (教職(保健体育)系)	保健体育科教育法1 (体育)	2・3・4前	2			1					1
		保健体育科教育法2 (保健)	2・3・4後	2								
		介護等体験実習 (事前事後指導を含む)	2・3・4前	2			1					
		保健体育科指導論 (オムニバス方式)	2・3・4後	2		2						
		体育科内容・指導論1 (体育理論) (オムニバス方式)	2・3・4前	2		1	1	1				
		体育科内容・指導論2 (体育実技) (オムニバス方式)	2・3・4前	2			2	1				
		保健科内容・指導論	2・3・4後	2		1						
		学校保健学(小児保健、精神保健、 学校安全及び緊急処置を含む)	2・3・4前	2								1
		衛生学 (公衆衛生学を含む)	2・3・4後	2								1
		E群 (スポーツ英語系)	スポーツ英語a1 (会話)	2・3・4前	2			1				
	スポーツ英語a2 (会話)		2・3・4後	2		1						
	スポーツ英語a3 (会話)		2・3・4前	2					1			
	スポーツ英語a4 (会話)		2・3・4後	2					1			
	スポーツ英語b1 (読解)		2・3・4前	2				1				
	スポーツ英語b2 (読解)		2・3・4後	2				1				
	スポーツ英語b3 (読解)		2・3・4後	2			1					
	スポーツ英語b4 (読解)		2・3・4前	2		1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職専門科目	教職概論	2前			2							1
	子どもの発達と社会Ⅰ	2前			2							1
	子どもの発達と社会Ⅱ	2後			2							1
	教育史	3前			2							1
	教育課程論	2後			2							2
	道徳教育指導論	3後			2							1
	特別活動論	2前			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導・教育相談	2前			2							1
	進路指導論	2後			2							1
	教育実習研修	4前			2		1					
	教育実習Ⅰ	4前			2		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2		1					
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1					3

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職専門科目	教職概論	2前			2							1
	子どもの発達と社会Ⅰ (オムニバス方式)	2前			2							2
	子どもの発達と社会Ⅱ	2後			2							1
	学校と教育の歴史	3前			2							1
	教育課程論	2後			2							2
	道徳教育指導論	3後			2							1
	特別活動論	2前			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導・教育相談 (オムニバス方式)	2前			2							2
	進路指導論	2後			2							1
	教育実習研修	4前			2		1					
	教育実習Ⅰ	4前			2		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2		1					
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1					3

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職専門科目	教職概論	2前			2							1
	子どもの発達と社会Ⅰ (オムニバス方式)	2前			2							2
	子どもの発達と社会Ⅱ	2後			2							1
	学校と教育の歴史	3前			2							1
	教育課程論	2後			2							2
	道徳教育指導論	3後			2							1
	特別活動論	2前			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導・教育相談 (オムニバス方式)	2前			2							2
	進路指導論	2後			2							1
	教育実習研修	4前			2		1					
	教育実習Ⅰ	4前			2		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2		1					
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1					3

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教職専門科目	教職概論	2前			2							1
	子どもの発達と社会Ⅰ (オムニバス方式)	2前			2							2
	子どもの発達と社会Ⅱ	2後			2							1
	学校と教育の歴史	3前			2							1
	教育課程論	2後			2							2
	道徳教育指導論	3後			2							1
	特別活動論	2前			2							1
	教育方法論	2後			2							1
	生徒指導・教育相談 (オムニバス方式)	2前			2							2
	進路指導論	2後			2							1
	教育実習研修	4前			2		1					
	教育実習Ⅰ	4前			2		1					
	教育実習Ⅱ	4前			2		1					
	教職実践演習(中・高)	4後			2	1	1					3

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

・「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」を担当予定の一瀬拓樹兼任講師、本学職員として採用の理由により、就任を辞退したため、当該4科目の兼任講師の配置を「5」から「4」に変更。
 ・「実技実習b4（ホッケー）」について、運営上の安全性に配慮し、開講時期を当初予定の「後期」から「前期」に変更。
 ・「実技実習c2（レスリング）」について、運営上の安全性に配慮し、開講時期を当初予定の「前期」から「後期」に変更。
 ・「子どもの発達と社会Ⅰ」について教職課程認定の結果、当初予定の天沼英雄兼任教授に中野隆司兼任講師を加えたオムニバス方式に変更したため、兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 ・「教育史」について教職課程認定の結果、授業科目の名称を「教育史」から「学校と教育の歴史」に変更。
 ・「教育課程論」について教職課程認定の結果、当初予定の天沼英雄兼任教授に百瀬光一兼任教授を加えたクラス分け方式に変更したため、兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 ・「生徒指導・教育相談」について教職課程認定の結果、当初予定の田沼朗兼任に遠藤清香兼任講師を加えたオムニバス方式に変更したため、兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。

【平成29年度】

・「スポーツ社会学」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「0」、兼任講師の配置を「1」に変更。
 ・「実技実習b3（ラグビー）」について、学生の履修の便に資するため、当初予定の「後期」のほか「前期」にも開講することとして開講時期を追加。
 ・「実技実習c3（空手道）」について、学生の履修の便に資するため、当初予定の「後期」のほか「前期」にも開講することとして開講時期を追加。
 ・「スポーツ専門演習Ⅰ」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「6」から「5」に変更。
 ・「スポーツ専門演習Ⅱ」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「6」から「5」に変更。
 ・「スポーツビジネス論」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「0」、兼任講師の配置を「1」に変更。
 ・「スポーツマーケティング論」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「0」、兼任講師の配置を「1」に変更。
 ・「生涯スポーツ演習3（スポーツビジネス）」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「0」、兼任講師の配置を「1」に変更。
 ・「生涯スポーツサポート演習2（スポーツマーケティング）」担当の入江省熙教授が平成28年度末に辞職したため、専任教授の配置を「0」、兼任講師の配置を「1」に変更。

【平成30年度】

・平成28年度末に辞職した「スポーツ社会学」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「1」、兼任講師の配置を「0」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「スポーツ専門演習Ⅰ」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「5」から「6」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「スポーツ専門演習Ⅱ」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「5」から「6」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「スポーツビジネス論」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「1」、兼任講師の配置を「0」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「スポーツマーケティング論」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「1」、兼任講師の配置を「0」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「生涯スポーツ演習3（スポーツビジネス）」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「1」、兼任講師の配置を「0」に変更。
 ・平成28年度末に辞職した「生涯スポーツサポート演習2（スポーツマーケティング）」担当の入江省熙教授の後任として平成30年度より小山さなえ教授を採用したため、専任教授の配置を「1」、兼任講師の配置を「0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4科目	154科目	14科目	172科目	4科目 [0]	156科目 [2]	14科目 [0]	174科目 [2]	設置計画に則った資格取得に対応するため、平成30年度より選択科目として「トレーニング指導実習」「運動処方論」の2科目を追加。

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	未開講科目なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	廃止科目なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{172} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	山梨学院短期大学と共用		
	校舎敷地	0 m ²	84,080 m ²	0 m ²	84,080 m ²			
	運動場用地	0 m ²	120,113 m ²	0 m ²	120,113 m ²			
	小 計	0 m ²	204,193 m ²	0 m ²	204,193 m ²			
	そ の 他	0 m ²	47,189 m ²	0 m ²	47,189 m ²			
	合 計	0 m ²	251,382 m ²	0 m ²	251,382 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	山梨学院短期大学と共用		
		30,813.66 m ² (30,813.66 m ²)	9,838.25 m ² (9,838.25 m ²)	10,867.00 m ² (10,867.00 m ²)	51,518.91 m ² (51,518.91 m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		55 室	33 室	25 室	6 室 (補助職員 4人)	2 室 (補助職員 3人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		スポーツ科学部 スポーツ科学科		22 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書資料、視聴覚資料の増加分は、新規購入による。 (29)
	スポーツ科学部 スポーツ科学科	7,646 [800] 7,636 [790] (7,590 [800]) (7,373 [788])	31 [2] (14 [0])	0 [0] (0 [0])	197 (197)	740 (541)	0 (0)	
	計	7,646 [800] 7,636 [790] (7,590 [800]) (7,373 [788])	31 [2] (14 [0])	0 [0] (0 [0])	197 (197)	740 (541)	0 (0)	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		山梨学院短期大学と共用		
		3,984.22 m ²	494席	約 31万冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要		山梨学院短期大学と共用			
		4,264.00 m ²	武道館 3,008.77 m ²					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	430千円	430千円	図書購入費	379千円	194千円	
	共同研究費等	79千円	79千円	設備購入費	145,659千円	33,002千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,395千円	1,195千円	1,195千円	1,195千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、手数料収入、等。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	山梨学院大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ科学部 スポーツ科学科	4	170	—	510	学士 (スポーツ科学)	1.17	平成28年度	山梨県甲府市酒折二丁目4-5	
法学部	4	370	—	1,500	—	1.12	昭和37年度	同上	
法学科	4	200	—	820	学士 (法学)	1.21	昭和37年度	同上	
政治行政学科	4	170	—	680	学士 (政治行政学)	1.02	平成3年度	同上	
現代ビジネス学部 現代ビジネス学科	4	200	—	800	学士 (商学)	1.19	昭和40年度	同上	
経営情報学部 経営情報学科	4	—	—	—	学士 (経営情報学)	—	平成6年度	同上	平成28年度より学生募集停止
健康栄養学部 管理栄養学科	4	40	3年次 10	180	学士 (栄養学)	1.18	平成22年度	同上	
国際リベラルアーツ学部 国際リベラルアーツ学科	4	80	—	320	学士 (国際リベラルアーツ)	0.44	平成27年度	同上	
大学の名称	山梨学院大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
社会科学部 公共政策専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (公共政策)	0.52	平成7年度	山梨県甲府市酒折二丁目4-5	
法務研究科 法務専攻 (専門職学位課程 法科大学院)	3	—	—	—	法務博士 (専門職)	—	平成16年度	同上	平成28年度より学生募集停止 平成30年3月31日付で廃止(30)

大学の名称	山梨学院短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年設年度	所在地	
食物栄養科	2年	100 110	—	210	短期大学士 (食物栄養学)	0.78	昭和23年度	山梨県甲府市酒折二丁目4-5	平成30年度より入学定員を変更(110→100 △10) (30)
保育科	2	150	—	300	短期大学士 (保育学)	1.08	昭和42年度	同上	
専攻科 保育専攻	2	25 15	—	40	—	1.05	平成14年度	同上	大学評価・学位授与機構の認定専攻科(平成14年4月) 平成30年度より入学定員を変更(15→25 +10) (30)

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	梅 峯 英 毅 (50) <平成28年4月>
		スポーツキャリア形成 実技実習b1 (バスケット ボール) 競技スポーツ戦術論※ 種目別コーチング演習5 (バ スケットボール)
兼任	教授	小 菅 信 子 (54) <平成28年4月>
		平和学Ⅰ 平和学Ⅱ
兼任	教授	塩 沢 一 平 (53) <平成28年4月>
		日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ
兼任	教授	数 住 伸 一 (60) <平成28年4月>
		観光・ホスピタリティ概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	梅 峯 英 毅 (51) <平成28年4月>
		スポーツキャリア形成 実技実習b1 (バスケット ボール) 競技スポーツ戦術論※ 種目別コーチング演習5 (バ スケットボール)
兼任	教授	小 菅 信 子 (55) <平成28年4月>
		平和学Ⅰ 平和学Ⅱ
兼任	教授	塩 沢 一 平 (54) <平成28年4月>
		日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ
兼任	教授	数 住 伸 一 (61) <平成28年4月>
		観光・ホスピタリティ概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	梅 峯 英 毅 (52) <平成28年4月>
		スポーツキャリア形成 実技実習b1 (バスケット ボール) 競技スポーツ戦術論※ 種目別コーチング演習5 (バ スケットボール)
兼任	教授	小 菅 信 子 (56) <平成28年4月>
		平和学Ⅰ 平和学Ⅱ
兼任	講師	山 崎 健 太 (33) <平成29年4月>
		日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ
兼任	教授	数 住 伸 一 (62) <平成28年4月>
		観光・ホスピタリティ概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	梅 峯 英 毅 (53) <平成28年4月>
		スポーツキャリア形成 実技実習b1 (バスケット ボール) 競技スポーツ戦術論※ 種目別コーチング演習5 (バ スケットボール)
兼任	教授	小 菅 信 子 (57) <平成28年4月>
		平和学Ⅰ 平和学Ⅱ
兼任	講師	山 崎 健 太 (34) <平成29年4月>
		日本の古典の世界Ⅰ 日本の古典の世界Ⅱ 現代日本文化と東アジアⅠ 現代日本文化と東アジアⅡ
兼任	教授	数 住 伸 一 (63) <平成28年4月>
		観光とホスピタリティ

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 統也 (48) <平成28年4月>
		自然の探求Ⅰ 自然の探求Ⅱ
兼任	教授	原 百年 (46) <平成28年4月>
		異文化コミュニケーション
兼任	教授	藤井 まさ子 (58) <平成28年4月>
		食生活と健康※
兼任	教授	百瀬 光一 (50) <平成28年4月>
		学校と子どもⅠ 学校と子どもⅡ 道徳教育指導論 教育方法論 教職実践演習(中・高) 教育課程論 特別活動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 統也 (49) <平成28年4月>
		自然の探求Ⅰ 自然の探求Ⅱ
兼任	教授	原 百年 (48) <平成28年4月>
		異文化コミュニケーション
兼任	教授	藤井 まさ子 (59) <平成28年4月>
		食生活と健康※
兼任	教授	百瀬 光一 (51) <平成28年4月>
		学校と子どもⅠ 学校と子どもⅡ 道徳教育指導論 教育方法論 教職実践演習(中・高) 教育課程論 特別活動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 統也 (50) <平成28年4月>
		自然の探求Ⅰ 自然の探求Ⅱ
兼任	教授	原 百年 (49) <平成28年4月>
		異文化コミュニケーション
兼任	教授	藤井 まさ子 (60) <平成28年4月>
		食生活と健康※
兼任	教授	百瀬 光一 (52) <平成28年4月>
		学校と子どもⅠ 学校と子どもⅡ 道徳教育指導論 教育方法論 教職実践演習(中・高) 教育課程論 特別活動論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	教授	内藤 統也 (51) <平成28年4月>
		自然の探求Ⅰ 自然の探求Ⅱ
兼任	教授	原 百年 (50) <平成28年4月>
		異文化コミュニケーション
兼任	准教授	針谷 夏代 (42) <平成28年4月>
		食生活と健康※
兼任	教授	百瀬 光一 (53) <平成28年4月>
		学校と子どもⅠ 学校と子どもⅡ 道徳教育指導論 教育方法論 教職実践演習(中・高) 教育課程論 特別活動論

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	山部 伸敏 (45) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習c1(柔道) 競技スポーツ情報戦略論※ 種目別コーチング演習11 (柔道)
兼任	准教授	吉田 浩二 (48) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習b3(ラグビー) 競技スポーツトレーニング論 ※ 種目別コーチング演習7(ラ グビー)
兼任	准教授	吉野 美香 (川上 美香) (37) <平成28年4月>
		スポーツ栄養学 食生活と健康※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	山部 伸敏 (46) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習c1(柔道) 競技スポーツ情報戦略論※ 種目別コーチング演習11 (柔道)
兼任	准教授	吉田 浩二 (49) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習b3(ラグビー) 競技スポーツトレーニング論 ※ 種目別コーチング演習7(ラ グビー)
兼任	准教授	吉野 美香 (川上 美香) (38) <平成28年4月>
		スポーツ栄養学 食生活と健康※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	山部 伸敏 (47) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習c1(柔道) 競技スポーツ情報戦略論※ 種目別コーチング演習11 (柔道)
兼任	准教授	吉田 浩二 (50) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習b3(ラグビー) 競技スポーツトレーニング論 ※ 種目別コーチング演習7(ラ グビー)
兼任	准教授	吉野 美香 (川上 美香) (39) <平成28年4月>
		スポーツ栄養学 食生活と健康※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	准教授	山部 伸敏 (48) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習c1(柔道) 競技スポーツ情報戦略論※ 種目別コーチング演習11 (柔道)
兼任	准教授	吉田 浩二 (51) <平成28年4月>
		スポーツ基礎演習 実技実習b3(ラグビー) 競技スポーツトレーニング論 ※ 種目別コーチング演習7(ラ グビー)
兼任	准教授	吉野 美香 (川上 美香) (40) <平成28年4月>
		スポーツ栄養学※ 食生活と健康※
兼任	助教	古閑 美奈子 (43) <平成28年4月>
		スポーツ栄養学※ 食生活と健康※
兼任	助教	齋田 ありさ (29) <平成30年4月>
		食生活と健康※

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石毛 侔子 (51) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	一瀬 拓樹 (34) ＜平成28年4月＞
		日本語Ⅰ(外国人留学生対象) 日本語Ⅱ(外国人留学生対象) 日本語Ⅲ(外国人留学生対象) 日本語Ⅳ(外国人留学生対象)
兼任	講師	内田 光枝 (61) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	小野 勝 (53) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	川上 琴美 (61) ＜平成28年4月＞
		実技実習a2(ダンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石毛 侔子 (52) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	内田 光枝 (62) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	小野 勝 (54) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	川上 琴美 (62) ＜平成28年4月＞
		実技実習a2(ダンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石毛 侔子 (53) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	内田 光枝 (63) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	小野 勝 (55) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	川上 琴美 (63) ＜平成28年4月＞
		実技実習a2(ダンス)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	講師	石毛 侔子 (54) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	内田 光枝 (64) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	小野 勝 (56) ＜平成28年4月＞
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ
兼任	講師	川上 琴美 (64) ＜平成28年4月＞
		実技実習a2(ダンス)

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	倉澤 一孝 (42) <平成28年4月>
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	講師	小山 勝弘 (46) <平成29年4月>
		保健体育科教育法2(保健) 学校保健学(小児保健、精神 保健、学校安全及び救急処置 を含む)
兼任	講師	進藤 聡彦 (57) <平成28年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	新保 淳 (57) <平成28年4月>
		スポーツ哲学(体育原理を含 む)
兼任	講師	瀬戸 邦弘 (42) <平成28年4月>
		スポーツ史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	倉澤 一孝 (43) <平成28年4月>
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	講師	小山 勝弘 (48) <平成29年4月>
		保健体育科教育法2(保健) 学校保健学(小児保健、精神 保健、学校安全及び救急処置 を含む)
兼任	講師	進藤 聡彦 (58) <平成28年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	新保 淳 (58) <平成28年4月>
		スポーツ哲学(体育原理を含 む)
兼任	講師	瀬戸 邦弘 (43) <平成28年4月>
		スポーツ史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	倉澤 一孝 (44) <平成28年4月>
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	講師	小山 勝弘 (48) <平成29年4月>
		保健体育科教育法2(保健) 学校保健学(小児保健、精神 保健、学校安全及び救急処置 を含む)
兼任	講師	進藤 聡彦 (59) <平成28年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	新保 淳 (59) <平成28年4月>
		スポーツ哲学(体育原理を含 む)
兼任	講師	瀬戸 邦弘 (44) <平成28年4月>
		スポーツ史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		担当授業科目名
兼任	講師	倉澤 一孝 (45) <平成28年4月>
		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ
兼任	講師	小山 勝弘 (49) <平成29年4月>
		保健体育科教育法2(保健) 学校保健学(小児保健、精神 保健、学校安全及び救急処置 を含む)
兼任	講師	進藤 聡彦 (60) <平成28年4月>
		心理学Ⅰ 心理学Ⅱ
兼任	講師	新保 淳 (60) <平成28年4月>
		スポーツ哲学(体育原理を含 む)
兼任	講師	

【認可時又は届出時】

【平成27年度】

【平成28年度】

【平成29年度】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	担当授業科目名
		<就任(予定)年月>	
兼任	講師	藤本 俊 (64)	実技実習a3 (器械運動)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	古屋 亮 (43)	観光と自然保護
		<平成28年4月>	
兼任	講師	宮村 季浩 (51)	スポーツ医学 衛生学 (公衆衛生学を含む)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	望月 海慧 (52)	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ
		<平成28年4月>	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	担当授業科目名
		<就任(予定)年月>	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	担当授業科目名
		<就任(予定)年月>	
兼任	講師	藤本 俊 (65)	実技実習a3 (器械運動)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	古屋 亮 (44)	富士山と観光 観光と自然保護
		<平成28年4月>	
兼任	講師	宮村 季浩 (52)	スポーツ医学 衛生学 (公衆衛生学を含む)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	望月 海慧 (53)	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ
		<平成28年4月>	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	担当授業科目名
		<就任(予定)年月>	
兼任	講師	藤本 俊 (66)	実技実習a3 (器械運動)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	古屋 亮 (45)	富士山と観光 観光と自然保護
		<平成28年4月>	
兼任	講師	宮村 季浩 (53)	スポーツ医学 衛生学 (公衆衛生学を含む)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	望月 海慧 (54)	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ
		<平成28年4月>	
兼任	講師	達磨 清香 (45)	生徒指導・教育相談※
		<平成27年4月>	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	担当授業科目名
		<就任(予定)年月>	
兼任	講師	藤本 俊 (67)	実技実習a3 (器械運動)
		<平成28年4月>	
兼任	講師	古屋 亮 (46)	富士山と観光 観光と自然保護
		<平成28年4月>	
兼任	講師	宮村 季浩 (54)	スポーツ医学 衛生学 (公衆衛生学を含む) 運動処方
		<平成28年4月>	
兼任	講師	望月 海慧 (55)	宗教と人間Ⅰ 宗教と人間Ⅱ
		<平成28年4月>	
兼任	講師	達磨 清香 (46)	生徒指導・教育相談※
		<平成27年4月>	

【認可時又は届出時】			【平成27年度】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								中野 隆司 (59) <平成27年4月>			中野 隆司 (60) <平成27年4月>			中野 隆司 (60) <平成27年4月>
								兼任 講師 子どもの発達と社会I※			兼任 講師 子どもの発達と社会I※			兼任 講師 子どもの発達と社会I※
											永井 裕樹 (36) <平成30年4月>			永井 裕樹 (36) <平成30年4月>
											兼任 講師 トレーニング指導実習※			兼任 講師 トレーニング指導実習※
											前川 慎吾 (53) <平成30年4月>			前川 慎吾 (53) <平成30年4月>
											兼任 講師 トレーニング指導実習※			兼任 講師 トレーニング指導実習※

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・スポーツ科学部設置認可の後の平成27年11月24日付で認定されたスポーツ科学部教職課程認定申請手続により、天沼英雄兼担教授の担当予定科目「子どもの発達と社会I」について、中野隆司兼任講師とのオムニバス方式に変更。
- ・スポーツ科学部設置認可の後の平成27年11月24日付で認定されたスポーツ科学部教職課程認定申請手続により、「教職課程論」に関しては天沼英雄兼担教授のほか百瀬光一兼担教授が担当するクラス分け方式に変更。
- ・スポーツ科学部設置認可時に本学経営情報学部准教授であった河野誠哉兼担教授が、所属する本学毛系情報学部において平成28年4月1日付で教授に昇任。
- ・スポーツ科学部設置認可時に本学法学部法学科准教授であった清水正兼担教授が、所属する本学法学部法学科において平成28年4月1日付で教授に昇任。
- ・スポーツ科学部設置認可時に本学現代ビジネス学部専任教師であった飯島理彰兼担講師が、所属する現代ビジネス学部において平成28年4月1日付で准教授に昇任。
- ・スポーツ科学部設置認可時に本学経営情報学部兼任講師であった倉澤一孝講師が平成28年4月1日付で本学現代ビジネス学部准教授として就任したため、兼担教授に変更。
- ・スポーツ科学部設置認可の後の平成27年11月24日付で認定されたスポーツ科学部教職課程認定申請手続により、田沼朗兼任講師の担当予定科目「特別活動論」について、百瀬光一兼担教授が担当することに変更。
- ・平成28年3月31日付で野田金男兼任講師が辞職したため、後任として平成28年4月1日付で古屋亮兼任講師（「観光と自然保護」担当）に野田金男兼任講師の担当予定科目「富士山と観光」を追加。
- ・スポーツ科学部設置認可の後の平成27年11月24日付で認定されたスポーツ科学部教職課程認定申請手続により、田沼朗兼任講師の担当予定科目「生徒指導・教育相談」について、遠藤清香兼任講師とのオムニバス方式に変更。

【平成29年度】

- ・平成29年3月31日付で入江省熙専任教授退職。平成29年度は年次進行により開設すべき科目を霜島広樹兼任講師が担当しつつ教員を公募し、平成30年4月1日付で入江省熙教授の後任として小山さなえ氏を専任教授として就任させることとして、AC教員審査を受審。平成29年7月、小山さなえ氏については、職位の適格性「教授適格」、担当予定科目全て「可」の判定を受ける。
- ・平成30年度以降の教育の充実のため、「スポーツ専門演習1」「スポーツ専門演習2」の追加担当者として、上田誠仁専任教授、神田忠彦専任教授、SHEAHAN, John Patrick専任教授、寺本祐治専任教授を追加することとしてAC教員審査を受審。平成30年1月、当該専任教授4名について追加担当予定科目「スポーツ専門演習1」「スポーツ専門演習2」に関し「可」の判定を受ける。
- ・平成29年3月31日付で塩沢一平兼担教授退職。平成29年度以降の後任として平成29年4月1日付で山崎健太兼任講師就任。

【平成30年度】

- ・平成30年4月1日付、小山さなえ専任教授就任。平成29年7月、AC教員審査済み。
- ・平成30年4月1日付、上田誠仁専任教授、神田忠彦専任教授、SHEAHAN, John Patrick専任教授、寺本祐治専任教授（計4名）の担当科目に「スポーツ専門演習1」「スポーツ専門演習2」を追加。平成30年1月、AC教員審査済み。
- ・平成30年4月1日付で数住伸一兼担教授の担当科目「観光・ホスピタリティ概論」の名称を「観光とホスピタリティ」に変更。
- ・平成30年4月1日付で「食生活と健康（オムニバス方式）」の担当者を、藤井まさ子兼担教授・古閑美奈子兼担教授・吉野美香（川上美香）兼担教授から、針谷夏代兼担教授・吉野美香（川上美香）兼担教授・窪田ありさ兼担助教に変更。
- ・平成30年4月1日付で「スポーツ栄養学」の担当者を、吉野美香（川上美香）兼担教授の単独担当から、吉野美香（川上美香）兼担教授・古閑美奈子兼担教授のオムニバス方式に変更。
- ・平成30年3月31日付で瀬戸邦弘兼任講師退職。平成30年度以降の後任として中嶋哲也兼任講師就任。
- ・設置計画に基づく資格取得の拡大のため、平成30年4月1日付で宮村季浩兼任講師の担当科目に「運動処方論」を追加。
- ・設置計画に基づく資格取得の拡大のため、平成30年4月1日付で「トレーニング指導実習※」（オムニバス方式）の担当として、永井裕樹兼任講師及び前川慎吾兼任講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済み」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
14	5	3	0	22	14	5	3	0	22	14	5	3	0	22
(13)	(5)	(3)	(0)	(21)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{22} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{22} = \boxed{4.54} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	入江 省照	選択	スポーツ経営学	①	一身上の都合のため辞任 (29)	
			必修	スポーツ専門演習1	①		
			必修	スポーツ専門演習2	①		
			選択	スポーツビジネス論	①		
			選択	スポーツマーケティング論	①		
			選択	生涯スポーツ演習3 (スポーツビジネス)	①		
			選択	生涯スポーツサポート演習2 (スポーツマーケティング)	①		
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{23} = 4.34 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任後、満1年で辞職した入江省熙教授に関しては、辞職理由が一身上の都合(本人のプライバシーに関する事項)であり、本学としては再三にわたり慰留したが本人の辞職の意思は固く、平成29年3月31日を以っての退職を認めざるを得なかった。

入江省熙教授の辞職の意思を確認の後、速やかに、平成30年4月就任予定として入江教授担当科目の全てを担当する専任教員を公募し候補者を絞り込むとともに、係る者(小山さなえ教授)については平成29年6月に予定のAC教員資格審査を受審する予定としている。また、この手続の間の学生の学修権を保障するため、第2年次配当までの科目として開講する必要のある「スポーツ経営学」「スポーツビジネス論」「スポーツマーケティング論」「生涯スポーツ演習3(スポーツビジネス)」に関しては、専任教員確定までの移行措置として、平成29年度においては霜島広樹兼任講師を追加し、対応することとした。

これらの事項に関する学生への説明に関しては、平成29年4月の授業開始前に実施する「新入生オリエンテーション」及び「在学生ガイダンス」において詳細説明を行い、学生の同意を得ている。(29)

平成29年3月31日付で辞職した入江省熙教授の後任である小山さなえ教授による専任教員(専任教授)の補充に関しては、前年度に示した計画通り履行した(平成29年7月、AC教員審査済み)。なお、小山さなえ教授の就任に伴い、平成29年度の専任教員の移行措置として就任していた霜島広樹兼任講師に関しては、平成30年3月31日付を以って退職した。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
<p>設 置 時</p> <p>(平成26年10月)</p>	<p>1. 課外活動を「正課の授業の補完的活動」として位置付けると説明しているが、「補完的活動」の具体的趣旨が明確でなく、課外活動が正課教育に対してどのような位置付けで置かれているものか不明瞭である。そのため、課外活動の位置付けについて、正課教育による学修成果を踏まえた正課教育の延長線上にあるものか、又は正課教育における学修成果と直接的な関連性を有さない一般的な活動にとどまるのかを明確にして、正課教育と課外活動の関係を整理すること。なお、課外活動が正課教育の延長線上にあると位置付けるのであれば、課外活動への参加を単に「奨励する」だけでなく、学生が積極的に課外活動に参加するような具体的な履修指導を検討するとともに、課外活動に参加しない学生に対してどのような措置を講ずるか検討すること。</p> <p style="color: red; text-align: center;">留意事項</p>	<p>課外活動の位置付けに関しては「正課の授業における学修成果と直接的な関連性を有さない一般的な活動にとどまる」ものとして位置づけたうえ、とくにスポーツ関連の課外活動（クラブ活動、サークル活動、イベントなどのボランティア活動）に参加する学生には、授業で学んだ内容を直ちに課外活動を通じて再確認し、知識偏重に陥らないよう指導に努めることを意図している。これは、OECDが1999年～2002にかけて行った「能力の定義と選択」（DeSeCo）プロジェクトの成果として示される「キー・コンピテンシー」、即ち</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力（個人と社会との相互関係） 2. 多様な社会グループにおける人間関係形成能力（自己と他者との相互関係） 3. 自律的に行動する能力（個人の自律性と主体性） <p>を学生に意識させるための配慮である。</p> <p>設置認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」において「正課の授業を補完するものとして、様々な教育的意味をもつスポーツ関連の課外活動を重視している。」としたのは、「正課の授業」と「課外活動」を明確に区分したうえで、「正課の授業」で学んだ内容を「課外活動」等を通じて再確認させる機会を学生に積極的に活用させ、卒業後のコンピテンスを培うことを意味している。従って、「課外活動」は、「正課の授業」の延長線上には存在しない。</p> <p>また、課外活動に関しては、学生の自由な選択意思（動機づけ）に基づく任意参加であることを踏まえ、課外活動への参加は「奨励」のみに留めるが、このほか、地域で開催されるスポーツに関わるボランティア活動等の紹介なども積極的に行い、「正課の授業」に臨む時間を除く自由時間を有効に活用し、生きる力を育めるよう指導に努める。</p> <p>なお、年度初めの新入生オリエンテーションにおいては、「正課の授業」と「課外活動」を明確に区分のうえ（「課外活動」が「正課の授業」の延長線上には存在しないことを明らかにしたうえで）、課外活動、あるいはその他の社会的活動（地域において実施されるスポーツに関わるボランティア活動等）に積極的に参加するよう、啓蒙を行った。（28）</p> <p>平成29年度においても、年度初めの新入生オリエンテーション及び在学生（第2年次生）ガイダンスにおいて、「正課の授業」と「課外活動」を明確に区分のうえ（「課外活動」が「正課の授業」の延長線上には存在しないことを明らかにしたうえで）、課外活動、あるいはその他の社会的活動（地域において実施されるスポーツに関わるボランティア活動等）に積極的に参加するよう、学生に啓蒙を行った。（29）</p> <p style="color: red;">平成30年度においても、年度初めの新入生オリエンテーション及び在学生（第2年次生）ガイダンスにおいて、「正課の授業」と「課外活動」を明確に区分のうえ（「課外活動」が「正課の授業」の延長線上には存在しないことを明らかにしたうえで）、課外活動、あるいはその他の社会的活動（地域において実施されるスポーツに関わるボランティア活動等）に積極的に参加するよう、学生に啓蒙を行った。（30）</p> <p style="text-align: center;">履行済</p>	

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項についての実施計画
<p>設置時</p> <p>(平成26年10月)</p>	<p>2.個性の重視と自律心の育成のために履修指導を充実させて必修科目を少なくしていることについて、一定程度説明がなされてはいるが、担当教員による個別の履修指導のみで実現できるのか懸念される。選択必修科目を多く設けているとはいえ学生が自由に選択できる科目であり、学生各自が将来の進路に応じて体系的な学修を自ら選択できるようにすることと個性の重視・自律心の育成の両立を履修指導により実現させるのであれば丁寧な履修指導が必要であると思われるため、全ての学生に対しての十分な履修指導の実施を検討し、着実に実施すること。</p>	<p>留意事項を踏まえ、個性の重視と自律心の育成のために履修指導を充実させて必修科目を少なくしていることについて、選択必修科目を多く設けているとはいえ学生が自由に選択できる科目であり、学生各自が将来の進路に応じて体系的な学修を自ら選択できるようにすることと個性の重視・自律心の育成の両立を履修指導により実現させるのであれば丁寧な履修指導が必要である。このような認識に立ち、全ての学生に対しての十分な履修指導、及び個別の学修状況を踏まえた適切な履修相談を行い得よう、各年次の演習担当教員による個別の履修指導のほか、各年次ごとに入学から卒業まで同一の教員が担当する「学年担任制」を導入し、組織的な履修指導や学生個別相談を行うこととした。</p> <p>なお、平成28年度入学生（開設時入学生）の学年担任は、以下に掲げる専任教員が担うこととした。</p> <p>【平成28年度入学生学年担任（3名）】</p> <p>寺本祐治（教授） 笠野英弘（准教授） 三井 勇（准教授）</p> <p>(28)</p> <p>平成29年度入学生（開設2年目の入学生）の学年担任は、以下に掲げる専任教員が担うこととした。</p> <p>【平成29年度入学生学年担任（3名）】</p> <p>神田忠彦（教授） 中垣浩平（准教授） 岸 邦彦（講師）</p> <p>なお、平成28年度に入学した学生については、入学時に学年担任となった3名の教員が引き続き指導・助言にあたっている。</p> <p>(29)</p> <p>平成30年度入学生（開設3年目の入学生）の学年担任は、以下に掲げる専任教員が担うこととした。</p> <p>【平成29年度入学生学年担任（3名）】</p> <p>塚田雄二（教授） 太田 涼（准教授） 安田 貢（准教授）</p> <p>なお、前年度までに入学した学生については、入学時に学年担任となった3名の教員が引き続き指導・助言にあたっている。</p> <p>(30)</p>	<p>履行済</p>

留意事項

履行済

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<スポーツ科学部 スポーツ科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①授業科目の開講時期の見直し 『エ 教育課程の編成の考え方及び特色』 「実技実習b4（ホッケー）」（1・2 後） 「実技実習c2（レスリング）」（1・2 前）</p>	<p>①運営上の安全性に配慮し、以下のとおりとした。 「実技実習b4（ホッケー）」（1・2 前） 「実技実習c2（レスリング）」（1・2 後） （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） （28）</p>
<p>②兼任教員の職位変更 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 河野誠哉（経営情報学部経営情報学科准教授） 清水 正（法学部法学科准教授） 飯島理彰（現代ビジネス学部現代ビジネス学科講師）</p>	<p>②平成28年4月1日付で昇格した。 河野誠哉（経営情報学部経営情報学科教授） 清水 正（法学部法学科教授） 飯島理彰（現代ビジネス学部現代ビジネス学科准教授） （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。専任教員の変更はない。）（28）</p>
<p>③兼任・兼任教員の身分変更 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 塩沢一平（経営情報学部経営情報学科教授） 倉澤一孝（現代ビジネス学部現代ビジネス学科兼任講師）</p>	<p>③平成28年4月1日付で発令した。なお、身分変更のみであり、担当科目の変更はない。 塩沢一平（経営情報学部経営情報学科兼任講師）（他大学に移籍：設置計画に基づく教員ため、再三にわたり慰留を行ったが、本人の意思が固く認めざるを得なかった。） 倉澤一孝（経営情報学部経営情報学科准教授）（本学既設学部の本務者として採用） （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。専任教員の変更はない。）（28）</p>
<p>④兼任講師の就任辞退 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 一瀬拓樹「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」 （授業科目は全て外国人留学生対象）</p>	<p>④日本語関係科目（外国人留学生対象）の担当者として予定した一瀬拓樹氏が本学職員への採用を希望したため、担当者より除外した。なお、日本語関係科目に関しては他に担当者が4人おり、170人の入学定員に対して40人（概ね入学定員の1/4）の外国人留学生が入学したと仮定しても1クラスの学生数が10人となるところから、授業科目の運営上に支障はなく、後任は補充しないこととした。なお、平成28年度の入学生中、外国人留学生は0人である（日本語関係科目は履修者がいないため未開講）。 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） （28）</p>
<p>⑤兼任講師の就任辞退に伴う担当者の変更 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 野田金男「富士山と観光」</p>	<p>⑤野田金男兼任講師より健康上の理由により就任を辞退したいとの申し出があり、設置計画に基づく教員ため、再三にわたり慰留を行ったが、本人の意思が固く認めざるを得なかった。 後任に関しては、「観光と自然保護」を担当する古屋亮兼任講師とし、支障はない。 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） （28）</p>
<p>⑥教職課程認定（平成27年11月24日付）に伴う認可後の兼任・兼任教員の変更 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 「子どもの発達と社会Ⅰ」（天沼英雄兼任教授：単独担当） 「教育課程論」（天沼英雄兼任教授：単独担当） 「特別活動論」（田沼朗兼任講師：単独担当） 「生徒指導・教育相談」（田沼朗兼任講師：単独担当）</p>	<p>⑥認可後の教職課程認定申請手続きに伴い、左に掲げる科目の兼任・兼任教員の担当等を、以下のとおりとした。なお、専任教員に係る変更はない。 「子どもの発達と社会Ⅰ」（天沼英雄兼任教授及び中野隆司兼任講師の2人によるオムニバス方式） 「教育課程論」（天沼英雄兼任教授の単独担当のほか、百瀬光一兼任教授の単独担当を加えたクラス分け） 「特別活動論」（百瀬光一兼任教授：単独担当） 「生徒指導・教育相談」（田沼朗兼任講師及び遠藤清香兼任講師の2人によるオムニバス方式） （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。専任教員の変更はない。）（28）</p>

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>⑦専任教授の就任辞退に伴う担当者の変更 『オ 教員組織の編成の考え方及び特色』 入江省照（専任教授） 「スポーツ経営学」 「スポーツ専門演習1」 「スポーツ専門演習2」 「スポーツビジネス論」 「スポーツマーケティング論」 「生涯スポーツ演習3（スポーツビジネス）」 「生涯スポーツサポート演習2（スポーツマーケティング）」</p>	<p>⑦入江省照教授に関しては、辞職理由が一身上の都合（本人のプライバシーに関する事項）であり、本学としては再三にわたり慰留したが本人の辞職の意思は固く、平成29年3月31日を以ての退職を認めざるを得なかった。 後任に関しては、入江省照教授の辞職の意思を確認の後、速やかに、平成30年4月就任予定として入江教授担当科目の全てを担当する専任教員を公募し候補者を絞り込むとともに、係る者（小山さなえ教授）については平成29年6月に予定のAC教員資格審査を受審する予定としている。また、この手続の間の学生の学修権を保障するため、第2年次配当までの科目として開講する必要のある「スポーツ経営学」「スポーツビジネス論」「スポーツマーケティング論」「生涯スポーツ演習3（スポーツビジネス）」に関しては、専任教員確定までの移行措置として、平成29年度においては霜島広樹兼任講師を追加し、対応することとしており、支障はない。 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） (29)</p> <p>平成29年3月31日付で辞職した入江省照教授の後任である小山さなえ教授による専任教員（専任教授）の補充に関しては、前年度に示した計画通り履行した（平成29年7月、AC教員審査済み）。なお、小山さなえ教授の就任に伴い、平成29年度の専任教員の移行措置として就任していた霜島広樹兼任講師に関しては、平成30年3月31日付を以て退職した。 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） (30)</p>
<p>⑧授業科目の開講時期の見直し 『エ 教育課程の編成の考え方及び特色』 「実技実習b3（ラグビー）」（1・2 後） 「実技実習c3（空手道）」（1・2 後）</p>	<p>⑧学生の履修の便に資するため、以下のとおり授業科目の開講時期を追加した。 「実技実習b3（ラグビー）」（1・2 前・後） 「実技実習c2（レスリング）」（1・2 前・後） （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） (29)</p>
<p>⑨入試区分の見直し 『ク 入学選抜の概要』 AO入試I期・II期 推薦入試I期・II期 一般入試A方式・B方式 センター方式入試I期・II期</p>	<p>⑨多様な社会的背景を持つ受験者を受け入れることが可能となるように、認可時の計画に示していた入試区分に加え、「社会人入試」を新設する。このような新たな入試区分を設けることにより、学び直しや新たにスポーツ科学の学修を行いたいと考える社会人経験者にも本学部への入学の可能性が開かれることになる。募集人員については、2人以下とする予定で、この人数が他の入試区分から減じられたとしても、他の入試区分で募集を予定している人数には大きな影響は及ばないことから、受験生に対する不利益は生じないと考えている。（29）</p>
<p>⑩授業科目の担当者の変更 『エ 教育課程の編成の考え方及び特色』 ・「食生活と健康」（オムニバス方式）（1・2 後） 藤井まさ子兼任教授 古閑美奈子兼任准教授 吉野美香（川上美香）兼任准教授 ・「スポーツ栄養学」（1・2 後） 吉野美香（川上美香）兼任准教授</p>	<p>⑩担当教員が所属する健康栄養学部の専任教員1人の定年退職（平成30年3月31日付）に伴う兼任教員の担当科目の見直しにより、以下のとおり変更した。 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） ・「食生活と健康」（オムニバス方式）（1・2 後） 針谷夏代兼任准教授 吉野美香（川上美香）准教授 窪田ありさ兼任助教 ・「スポーツ栄養学」（オムニバス方式）（1・2 後） 吉野美香（川上美香）兼任准教授 古閑美奈子兼任准教授 (30)</p>
<p>⑪授業科目の担当者の追加 『エ 教育課程の編成の考え方及び特色』 「スポーツ専門演習1」（1・2 後） 「スポーツ専門演習2」（1・2 後）</p>	<p>⑪学生の履修の便に資するため、以下のとおり授業科目の担当者を追加した（平成30年1月、AC教員審査済み）。 「スポーツ専門演習1」（1・2 後） 「スポーツ専門演習2」（1・2 後） ・上田誠仁教授、神田忠彦教授、 SHEAHAN, John Patrick教授、寺本祐治教授 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） (30)</p>
<p>⑫資格取得に対応するための授業科目の追加 『エ 教育課程の編成の考え方及び特色』 「トレーニング指導実習」（3・4 前） 「運動処方論」（3・4 後）</p>	<p>⑫資格取得に対応するため、以下の授業科目を追加した。 「トレーニング指導実習※」（3・4 前）（オムニバス方式） ・永井裕樹兼任講師、前川慎吾兼任講師 「運動処方論」（3・4 後） ・宮村季浩兼任講師 （「2 授業科目の概要」「5 教員組織の状況」にも明記した。） (30)</p>

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

スポーツ科学部では、全学的に行う教員の資質の維持向上の方策に則り、(1) 学生による授業アンケート（前期・後期の年2回とし、全科目を対象とする）の実施、(2) 授業開放による教員相互の教育方法・内容・技術に関する情報交換の推進、(3) 教員研修会の開催、(4) 教員個別の外部研修への参加を実施している。このため、スポーツ科学部内にもファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会を配置し、全学的な活動と歩調を合わせながら実施している。なお、本学全体としては、平成27年度まではファカルティ・ディベロップメント（FD）に特化した委員会である「ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設けていたが、平成28年度より当該委員会、及び学生の初年次教育に関する事項を取扱う「基礎演習企画運営委員会」を統合し、新たに学生に向けたピア・サポートや補習教育を含む包括的な支援のあり方や、インスティテューショナル・リサーチ（institutional research :IR）などを包括的に研究・運営するための研究機関として、学習・教育開発（Learning and Education Development: LED）センターを配置のうえ、ファカルティ・ディベロップメント（FD）に係る事項に関しては学習・教育開発センター運営委員会において審議事項として取扱うこととした。学習・教育開発センターには、学習・教育開発センター運営委員会を配置し（委員は、本学が開設する全ての学部からの代表者で構成）、科学的分析に基づく教員の資質の維持向上の方策を企画させ、全学的に共有することによる学生教育の充実を予定している。なお、資料として、「学習・教育開発センター規程」及び「学習・教育開発センター運営委員会規程」を、別途添付する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学に亘るFDについては、「学習・教育開発センター運営委員会」において企画し、運営している。スポーツ科学部においても、この委員会の審議結果に基づきながら、学部内のファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会において分析を行い、直近の学部教授会において議題として提示し、検討を行うこととしている。平成28年度のFD活動の実績に関しては、学生による授業アンケートの実施とその結果の分析に基づく改善計画の翌年度シラバスへのフィードバック、全学参加のFD研修会の開催などがある。

c 委員会の審議事項等

学習・教育開発センター規程第3条及び第9条において、以下のとおり定めている。

（事業）

第3条 LEDセンターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 初年次教育及びコンピテンシー教育に係る授業の計画と運営
- (2) ファカルティ・ディベロップメント（FD）及びスタッフ・ディベロップメント（SD）の計画と実施
- (3) ピア・サポート体制の確立
- (4) 補習教育を含む学習支援
- (5) インスティテューショナル・リサーチ（IR）
- (6) その他LEDセンターの目的達成にとって適当と認められる事業

（運営）

第9条 LEDセンターに、事業の計画、運営等に関する事項を審議するため運営委員会を置く。運営委員会に関する規程は別に定める。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 授業方法についての研究会
- (2) 教員相互の授業参観
- (3) 新任教員のための研修会
- (4) 専任教員ための学外研修会出張への補助

b 実施方法

- (1) 授業方法についての研究会：スポーツ科学部内のファカルティ・ディベロップメント委員会において企画し随時実施
- (2) 教員相互の授業参観：授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時（本学全体の申し合わせ事項）
- (3) 新任教員のための研修会：平成28年度（開設初年度）は、平成29年3月1日（水）に実施。以降、年度末に随時。
- (4) 専任教員ための学外研修会出張への補助：学習・教育開発（LED）センターにおいて随時受付

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 授業方法についての研究会
4月2日（月）の学部教授会の折に開催し、就任済の全専任教員が出席した。
- (2) 教員相互の授業参観
授業運営に支障を来さない範囲で参観は随時としている。
- (3) 新任教員のための研修会
全専任教員が出席した。兼任・兼任教員に関しては最初の授業の前に個別に説明を行った。
- (4) 専任教員ための学外研修会出張への補助
学習・教育開発（LED）センターにおいて随時受付している。
研修結果は書面による報告を義務付けている。また、報告書に関しては、全学に公表することとしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学部開設後2年が経過し、実施結果に関する取りまとめや、係る結果を活用した授業改善等への取組みに移行している。とくに前年度までの学生による授業アンケートの結果を詳細に分析し、それぞれの授業に対する学生の個別意見を分析したうえ、当該科目の授業改善計画に関しては学生の科目選択にも資するよう、シラバスに明示している。また、これらの諸課題に関しては、「学部FD会議」において段階的に実施結果を共有のうえ議論し、速やかに改善に向けた取組みに活用しうよう取組みを進めている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期、後期ともに、第8週目に実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

結果の公表に関しては、学生の独善的な解釈を避けるために公表範囲を教員組織のみとし、学部全体として数値化した結果の共有と、教員個別結果の個別通知に基づく議論を行っている。この議論に基づき、前述のとおり、それぞれの授業に対する学生の個別意見を分析したうえ、当該科目の授業改善計画に関しては学生の科目選択にも資するよう、次年度のシラバスに明示している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、教育目標として「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」に示された「スポーツ界の好循環システム」に貢献する人材の育成を掲げ、地域における競技スポーツと生涯スポーツの推進者の育成に焦点をあて、競技スポーツコースと生涯スポーツコースの2つのコースを設け、両コースともに「スポーツ界の好循環システム」に貢献する人材の育成を目指す学生の自立を育む教育課程と、各種のスポーツ種目や競技スポーツ・生涯スポーツ（障がい者スポーツを含む）に対応しうる学修環境を提供することで、教育目標として掲げた能力を学生たちに修得させることを使命としている。

学部開設3年目の現段階（平成30年5月現在）においては卒業生を輩出しておらず、上記のような設置の趣旨・目的が社会に向けて達成されているかを評価することは困難である。しかし、入学定員170人に対して各年度300人以上の志願者が得られたという実情に鑑み、本学部の社会的責任を改めて確認のうえ、計画した内容を着実に履行していく。加えて、学部開設からこれまでの経験を踏まえて、学生たちが知識修得に偏ることなく授業で得た知識や技術を日常的な生活の中で確認できるように促し、生きる力を身につけられるようフォローアップするための体制を整備するなど、さらに万全の体制を整えるべく、検討を続けることにしたい。

今後は、本学部の意欲的な教育プログラムが広く認知されるように、入試広報活動を一層、強化して、入学者の確保に努める計画である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成28年6月30日 公表（平成27年度自己点検評価書：認証評価対象報告書）
- ・平成29年6月30日 公表（平成28年度自己点検評価書）
- ・平成30年6月30日 公表予定（平成29年度自己点検評価書）

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、地域自治体及び地域企業に配布を予定（平成30年7月を予定）
- ・本学ホームページ上に公開予定（平成30年6月30日を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成35年度に日本高等教育評価機構の認証評価を受審する予定である。

（注：平成28年度に日本高等教育評価機構の認証評価を受審し、同機構の定める大学評価基準に適合しているとして判定されたため、次回受審は7年後として予定している。）

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成30年6月30日)

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

- ・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

< 添 付 資 料 >

< 添付資料目次 >

1. 学習・教育開発センター規程
2. 学習・教育開発センター運営委員会規程

1. 学習・教育開発センター規程

山梨学院大学学習・教育開発センター規程

(平成27年4月1日制定)

(名称)

第1条 山梨学院大学(以下、「本学」という。)に、山梨学院大学学習・教育開発(Learning and Education Development)センター(以下、「LEDセンター」という。)を置く。

(目的)

第2条 LEDセンターは、インスティテューショナル・リサーチ(IR)活動に基づき、大学の意思決定に資す情報の収集と分析に努めながら、学生の学習支援を開発し、大学全体や学部の教育、そして個々の授業について研究支援し、本学の教育改革に資することを目的とする。

(事業)

第3条 LEDセンターは、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 初年次教育及びコンピテンシー教育に係る授業の計画と運営
- (2) ファカルティ・ディベロップメント(FD)及びスタッフ・ディベロップメント(SD)の計画と実施
- (3) ピア・サポート体制の確立
- (4) 補習教育を含む学習支援
- (5) インスティテューショナル・リサーチ(IR)
- (6) その他LEDセンターの目的達成にとって適当と認められる事業

(センター長)

第4条 LEDセンターに、センター長1名を置く。

- 2 センター長は、センターの事務を統括し、センターを代表する。
- 3 センター長は、本学専任教員の中から、学長がこれを委嘱する。
- 4 センター長の任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

(副センター長)

第5条 LEDセンターに、副センター長を置くことができる。

- 2 副センター長は、センター長を補佐し、センター長に事故あるときは、センター長の職務を代行する。
- 3 前条第3項及び第4項の規定は、副センター長について準用する。

(研究員)

第6条 LEDセンターに、研究員若干名を置くことができる。

- 2 研究員は、センター長の命を受けて、センター事業を推進する業務を行う。
- 3 第4条第3項及び第4項の規定は、研究員について準用する。

(顧問)

第7条 LEDセンターに外部有識者による顧問を置くことができる。

(事務長及び職員)

第8条 LEDセンターに、事務長1名及び専門職職員及び事務職員若干名を置く。

- 2 事務長は、センター長の命を受けてセンターの事務を司る。
- 3 LEDセンターに関する事務は、教務部教務課が処理する。

(運営)

第9条 LEDセンターに、事業の計画、運営等に関する事項を審議するため運営委員会を置く。運営委員会に関する規程は別に定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、合同教授会の議を経なければならない。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年9月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

2. 学習・教育開発センター運営委員会規程

山梨学院大学学習・教育開発センター運営委員会規程

(平成28年3月2日制定)

(設置)

第1条 本学に、学習・教育開発センター（以下、「LEDセンター」という。）規程第9条に定める、LEDセンター運営委員会（以下、「本委員会」という。）を置く。

(職務)

第2条 本委員会は、次の各号に掲げる事項について審議し、必要に応じてLEDセンターの業務を分担する。

- (1) 事業計画及び運営に関する事項
 - (2) その他LEDセンター長が付議する事項
- 2 第1項第1号に掲げる事項のうち授業科目「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」に係る企画・運営については、本学新生が大学生としてふさわしい意識と姿勢をもちつつ、大学での学問修得に必要な基礎知識及び基本的スキルを身に付けることができるよう、新生教育の企画立案等を図り、もって本学新生の大学生活の充実に資することを目的とする。
- 3 第1項第1号に掲げる事項のうちファカルティ・ディベロップメント（FD）に関するものは、本学の教育理念及び各学部・学科の教育目標に基づき、教育の質的向上及び授業改善のための方策を検討し、これに必要な諸活動を企画・立案し、実施することを目的とする。

(構成)

第3条 本委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 事務長
 - (4) 委員
 - (5) その他学長が特に認めた者
- 2 本委員会の委員長は、LEDセンター長が務める。
- 3 本委員会には、副委員長を置くことができる。

(委嘱)

第4条 本委員会の委員は、学長が委嘱する。

(任期)

第5条 前条の委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠によって委員となった者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員長は、本委員会を招集して、その会議の議長となる。

- 2 委員長に事故あるときは、副委員長又は委員長が予め指名した委員が議長の職務を代行する。
- 3 委員長は、会議に委員以外の教職員の出席を求めることができる。

(事 務)

第7条 本委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第8条 この規程の改正は、本委員会の議を経て、合同教授会の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

- (1) 山梨学院大学基礎演習企画運営委員会規程(平成20年3月5日制定)、及び山梨学院大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程(平成19年10月17日制定)、並びに山梨学院大学学生総合支援委員会規程(平成25年3月6日制定)は、これを廃止する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。